キミと一緒に、育っていきたい。
Komaki

KOMAKI SHIGIKAI DAYORI

こまき市議会だより

No.206 発行／小牧市議会 2024年5月1日

●令和6年度一般会計予算特集 ‥‥2～3

●令和6年度一般会計予算を含む議案47件を可決 ‥‥‥‥‥‥‥‥4～7

●4会派が代表質問、13人が個人通告質問を実施 ‥‥‥‥‥‥‥‥8～16

＊ホームページ 小牧市議会 検索

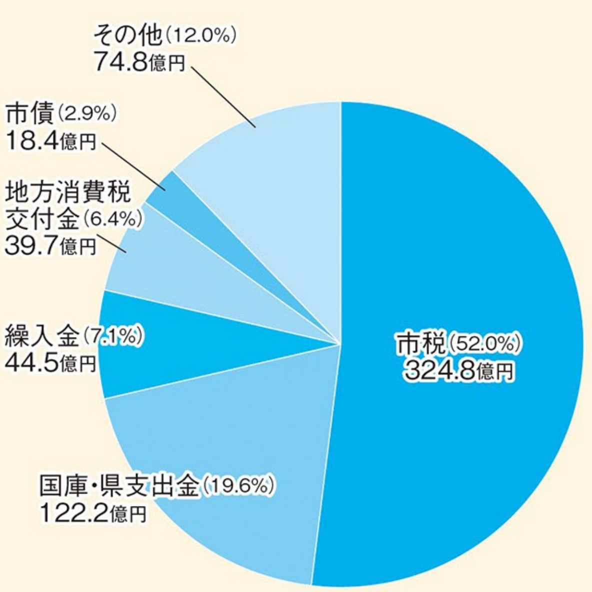
★表紙写真の募集をしています。

『天下の奇祭 田縣神社豊年祭』
（令和6年3月15日撮影）

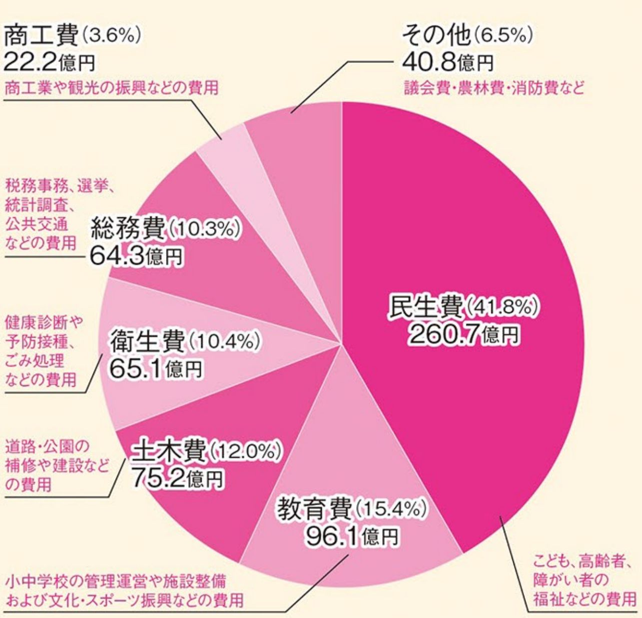
“魅力と活力あふれる夢ある小牧を創造”
「令和6年度小牧市一般会計予算」を可決

予算額　624億4000万円
（対前年度比 3.4%増）

歳　入



歳　出



〈歳出予算の特徴〉

○民生費が、対前年度当初比 8.1% 増となった。 ⇒障害者自立支援等給付事業の増などによる
○土木費が、対前年度当初比 4.5% 増となった。 ⇒北西部地区公園整備事業の増などによる
○総務費が、対前年度当初比 5.3% 増となった。 ⇒退職手当等の人件費の増などによる

歳入では、個人市民税について、個人所得は増加傾向にあるものの、制度改正等の影響により減収となる見込みであり、固定資産税についても、企業の設備投資の伸び悩みから償却資産を減収と見込んだことなどにより、対前年度比で減収を見込んでいます。

歳出では、社会保障関連経費の増加が続いていることに加え、人件費や物価の急激な上昇が、様々な経費の上昇圧力となっています。さらに、近年の制度改正や国の政策による減収と支出の増加が、普通交付税の不交付団体である本市の財政を急激に圧迫しており、歳出の伸びに対応した財源の確保が困難になっています。

令和6年度予算は、こうした厳しい財政状況等をふまえた上で、安全・安心・快適な市民生活を最優先としつつ、より一層の行財政改革を進め、重要施策に重点的に予算配分がされています。

特別会計

会計名	令和6年度当初予算額
土地取得	26万円
国民健康保険事業	133億4914万円
文津土地区画整理事業	4億160万円
岩崎山前土地区画整理事業	2億9709万円
小牧南土地区画整理事業	5億5923万円
本庄土地区画整理事業	1億1252万円
介護保険事業	93億2614万円
後期高齢者医療	45億5692万円
合　計	286億293万円

企業会計

会計名	令和6年度当初予算額
病院事業	296億3692万円
水道事業	48億9937万円
下水道事業	50億5487万円
合　計	395億9118万円

※1万円に満たない額は切り捨てて表記しているため、実際の額とは異なります。

小牧市の明るい未来につながる更なるチャレンジと、15万市民の幸せのための主な新規・拡充事業を紹介します!!

養育費確保の支援

新 ひとり親家庭の養育費の取り決めに係る費用を助成
→公正証書等作成費用(上限4万円)
→養育費保証契約保証料(上限5万円)

使用済みおむつ施設内処分の推進

新 ・公立保育園等において令和6年7月から使用済みおむつを施設内処分

新 ・私立保育園等に使用済みおむつの施設内処分に係る費用を補助

保育園適正配置・整備の推進

新 北里保育園と藤島保育園を統合するため、仮園舎の設計等を実施

健康増進施設の整備・運営

新 健康づくりとフレイル予防を推進する拠点となる施設を多世代交流プラザ内に整備

健康経営の支援

新 ・全国健康保険協会愛知支部(協会けんぽ)と連携し、事業所の自主的な健康経営の推進に対する顕彰制度を実施

新 ・経済産業省が運営する健康経営優良法人認定取得に係る申請手数料の一部を助成

新 ・健康経営に関する情報共有の機会を提供する健康経営セミナーを開催

視覚障がい者に歩行訓練士を派遣

新 視覚障がい者の歩行訓練のため視覚障害者リハビリテーションワーカー(歩行訓練士)を派遣

企業新展開支援プログラムの推進

新 新たに地場産品を製造、加工するための設備導入に係る費用を補助

プラスチックの再資源化

資源循環及びカーボンニュートラルを推進するとともに、市民の排出利便性の向上を図るため、「プラスチック製品」と「プラスチック製容器包装」の一括回収を実施

第1回定例会

会期　2月27日から3月22日までの25日間

条例案19件をはじめ、合計47議案を審議しました。
上程された主な議案と審議結果は次のとおりです。

条例

▽特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例の制定

市長、副市長及び教育長の退職手当の額について小牧市特別職報酬等審議会の意見を聴くこととする。（令和6年4月1日から施行）

▽公告式条例の一部を改正する条例の制定

条例の公布の方法は、市のウェブサイトへの掲載及び小牧市役所前の掲示場への掲示（現行小牧市役所前及び各支所前掲示場への掲示）とする。（令和6年4月1日から施行）

▽介護保険条例の一部を改正する条例の制定

令和6年度から令和8年度までの保険料率は、第1号被保険者の市民税の課税状況等の区分に応じて改正する。（令和6年4月1日から施行）

▼詳細はこちら

一般

▽市民会館ホール舞台照明設備更新工事請負契約の締結

市民会館ホール舞台照明器具、客席の部分的な照明器具及び調光制御装置の更新工事（請負契約金額2億1780万円、工期令和6年4月5日～10月31日）

補正予算

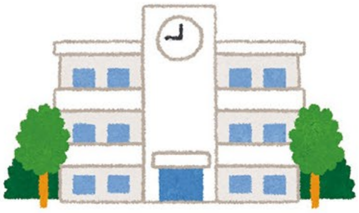
一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ2億7938万3000円増額し、660億1771万9000円とするものです。
主なものは次のとおりです。

【歳入】

- 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金　16億8462万3000円（増額）
- 校舎大規模改造事業債　3億6150万円（増額）

【歳出】

- 総合経済対策に伴う臨時給付金（均等割のみ課税世帯等）支給事業　3億5778万9000円（増額）



- 総合経済対策に伴う臨時給付金（定額減税調整給付）支給事業　13億2069万4000円（増額）
- 中学校施設営繕事業　2億2183万2000円（増額）
- 基金積立金（次世代教育環境整備基金積立金等）　2億4142万8000円（減額）
- こまき応援寄附金推進事業　1億8925万8000円（減額）
- 土地区画整理事業特別会計繰出金　1億3791万8000円（減額）

人事

▽固定資産評価審査委員会委員の選任

- 谷口　正信　氏（新任）

▽教育委員会教育長の任命

- 中川　宣芳　氏（再任）

第１回定例会

◇上程議案と審議結果◇

※否決された議案はありませんでした。

議決結果	件名
	条例案　19件
賛成多数	特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例の制定
全員一致	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定
全員一致	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定
全員一致	公告式条例の一部を改正する条例の制定
全員一致	使用料及び手数料条例の一部を改正する条例の制定
全員一致	スポーツ施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定
全員一致	心身障害者扶助料支給条例の一部を改正する条例の制定
全員一致	ふれあいの家の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定
賛成多数	介護保険条例の一部を改正する条例の制定
賛成多数	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定
賛成多数	国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定
全員一致	こまき多世代交流プラザの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定
全員一致	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定
全員一致	病院事業の設置等に関する条例及び小牧市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定
全員一致	市営住宅条例の一部を改正する条例の制定
全員一致	特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例の制定
全員一致	尾張都市計画事業小牧小松寺土地区画整理事業施行条例を廃止する条例の制定
全員一致	水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定
全員一致	市税条例の一部を改正する条例の制定
	一般議案　3件
全員一致	市民会館ホール舞台照明設備更新工事請負契約の締結
全員一致	道路線の廃止
全員一致	道路線の認定

議決結果	件名
	令和5年度補正予算案　11件
全員一致	一般会計補正予算（第13号）
全員一致	土地取得特別会計補正予算（第1号）
全員一致	国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）
全員一致	尾張都市計画事業小牧文津土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）
全員一致	尾張都市計画事業小牧岩崎山前土地区画整理事業特別会計補正予算（第3号）
全員一致	尾張都市計画事業小牧南土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）
全員一致	尾張都市計画事業小牧本庄土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）
全員一致	介護保険事業特別会計補正予算（第4号）
全員一致	後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）
全員一致	病院事業会計補正予算（第4号）
全員一致	下水道事業会計補正予算（第3号）
	令和6年度予算案　12件
賛成多数	一般会計予算
全員一致	土地取得特別会計予算
賛成多数	国民健康保険事業特別会計予算
全員一致	尾張都市計画事業小牧文津土地区画整理事業特別会計予算
全員一致	尾張都市計画事業小牧岩崎山前土地区画整理事業特別会計予算
全員一致	尾張都市計画事業小牧南土地区画整理事業特別会計予算
全員一致	尾張都市計画事業小牧本庄土地区画整理事業特別会計予算
賛成多数	介護保険事業特別会計予算
賛成多数	後期高齢者医療特別会計予算
全員一致	病院事業会計予算
全員一致	水道事業会計予算
全員一致	下水道事業会計予算
	人事案　2件
全員一致	固定資産評価審査委員会委員の選任
全員一致	教育委員会教育長の任命

※「固定資産評価審査委員会委員の選任」以外の議案46件は欠席者1名

表決結果の分かれた議案

※議員名は会派別、50音順です

第1回定例会	牧政会												こまき民主市議団				日本共産党小牧市議団			公明党小牧市議団			無会派		
	阿部哲己	石田知早人	長田淳	河内光	河内伸一	木村哲也	小島倫明	佐藤悟	鈴木裕士	永井孝典	舟橋秀和	余語智	小川真由美	小沢国大	諸岡英実	谷田貝将典	猪飼健治	安江美代子	山田美代子	加藤晶子	佐藤早苗	星熊伸作	伊藤皇士郎	大上利幸	黒木明
特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例の制定	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	○
介護保険条例の一部を改正する条例の制定	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
令和6年度一般会計予算	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
令和6年度国民健康保険事業特別会計予算	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
令和6年度介護保険事業特別会計予算	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
令和6年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○

■ 表示は、「○:賛成」、「×:反対」、「退席」、「欠席」です。
■ 賛否の分かれたものの結果については、議員からの申し出に基づき掲載しております。
■ 議長は、通常、採決には参加しておりませんが、採決の結果、可否同数の場合にのみ態度を表明できます。

委員会審査報告

主な審査内容と結果をお知らせします。

総務委員会

特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例の制定

結果　出席者賛成多数で可決（賛成6人、反対1人、欠席1人）

市長、副市長及び教育長の退職手当の額について、小牧市特別職報酬等審議会の意見を聴くことに

問　今回の改正の趣旨について問う。

答　特別職の退職手当の適正額を検討する中で、第三者の意見をいただきながら判断するため、特別職報酬等審議会にその審議をお願いしようとするものである。
特別職報酬等審議会は、議員報酬の額、市長、副市長、教育長の給料の額を審議することとなっており、退職手当は審議の対象となっていないため、退職手当についても審議することができるよう改正するものである。

福祉厚生委員会

国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定

結果　賛成多数で可決（賛成6人、反対1人）

国民健康保険税の課税額の見直しを実施

問　国民健康保険税を引き上げる改正であるが、本市の平均保険税額は、県内他市との比較でどのような状況なのか問う。

答　令和4年度の決算額で、1世帯当たりの平均保険税額は、本市は14万6000円余で、これは、県内54市町村中、7番目に安い税額となっている。県平均は16万3000円余で、本市の税額より1万7000円余、高くなっている。

文教建設委員会

市営住宅条例の一部を改正する条例の制定

結果　全員一致で可決

新婚世帯の市営住宅への入居要件を緩和、結婚後の経済的な不安に対し支援

問　改正の内容と理由の詳細について問う。

答　1点目は、新婚世帯の結婚後の経済的な不安に対する支援をするため、入居者の資格のうち、「特に居住の安定を図る必要がある世帯」に新婚世帯を追加するもの。2点目は、国の保証人の削除要請の趣旨等を踏まえ、入居の手続の中で、賃貸借契約に必要であった連帯保証人の署名を要しないとするものである。

予算決算委員会

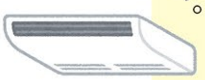
令和5年度一般会計補正予算（第13号）

結果　出席者全員一致で可決（賛成23人、欠席1人）

〈文教建設分科会〉

小牧中学校ほか4校の職員室等の空調機を更新

問　小牧中学校ほか4校の職員室等の空調機更新費用が1億3555万3000円と高額だが、対象となる空調機の設置年数を問う。



答　今回の更新では、58台の空調機の更新を予定しているが、設置からおおむね20年程度経過している空調機が対象となる。
近年これらの空調機の故障が多く発生をしており、その都度修理を依頼しているが、ほとんどの部品の供給が終了しているため、故障しても修理出来ない状況となっていることから、計画的に更新を行うものである。

令和6年度一般会計予算

結果 出席者賛成多数で可決
（賛成20人、反対3人、欠席1人）

〈総務分科会〉

市制70周年記念事業として特設サイトを開設

問 市制70周年記念事業の内容について問う。

答 市制70周年記念特設サイト作成委託は、市制70周年の機運を醸成するため、記念事業の告知や参加者の募集など、様々な情報を発信する場として利用者に70周年の情報を効果的に伝えることのできる、特設サイトを設置するものである。

市制70周年記念市民企画事業補助金は、市制70周年記念事業として市民団体、学校、企業等が主体的に企画、実施する事業を公募し、その経費の一部を補助金として交付しようとするものである。

〈福祉厚生分科会〉

自殺への対策をさらに強化

問 自殺対策計画策定支援委託料について、計画の見直し内容を問う。

答 自殺は健康問題だけでなく、仕事や家族などの問題が連鎖して、日常のありふれた問題が複雑化して自殺に気持ちが動くと言われている。

市では、自殺に至る前段階に目を向け、さらに幅広い年代に対し、ゲートキーパーを養成するとともに、自己肯定感を高めていく考えである。自殺を防ぐ地域力の向上、一人一人の心の健康づくりも大切なため、地域の保健連絡員や民生委員・児童委員の力をお借りしたいと考えている。また、国は女性や子供に対しても力を入れていくとのことであり、小牧の実情に合わせてアップデートしていきたいと考えている。

〈文教建設分科会〉

小牧山東公園を整備

問 小牧山東公園整備事業について、令和7年度の供用開始までの事業予定について問う。

答 公園の整備及び管理を行う予定事業者との間で令和6年4月末頃に公園整備に関する基本協定を締結し、整備計画案をもとに予定事業者が実施設計を行い、公園の整備内容を決定していく。実施設計では、予定事業者と本市との間で設計協議を行うとともに、予定地周辺にお住まいの方々にご意見を伺う予定である。

その後、決定した整備内容に基づき、公園施設の建設譲渡契約の締結及び指定管理者の指定について、令和6年第3回定例会において議案を提出する予定であり、議決後は、速やかに、建設譲渡契約の締結、及び指定管理者の指定を行い、令和6年10月に工事に着手し、令和7年6月に供用開始予定である。

令和6年度水道事業会計予算

結果 出席者全員一致で可決
（賛成23人、欠席1人）

主要な水道管の耐震化を引き続き実施

問 主要幹線管路の耐震管ループ化事業の今後の予定を問う。

答 令和6年度以降は、これまでに整備をしてきたループ化管路の供用開始ができるよう、洗管作業などを計画的に進めていく予定である。

ループ化管路の供用に向けた洗管作業時には、管内の水道水の流速や方向が変わることから、水道水の濁りが発生する場合があるため、水の使用が少ない夜間に洗管作業を行うなど、市民への影響を最小限に抑えるための方策について十分に検討を行う。また、水の濁りが広範囲に及ぶと予測される場合には、市ホームページ、SNSの活用や、区への案内、広報車での広報活動もあわせて行うなど、市民へ周知し、協力をお願いする。

第1回定例会　代表質問

牧政会
長田（おさだ）　淳（あつし）

動画をチェック!

施政方針

問　高齢化・人口減少が更に進行し、新たな課題が噴出し始めた。変化の激しい時代に様々なチャレンジに取り組む必要がある。①時代の転換期を迎え、今後の市政を問う。②令和6年度予算の重点施策と今後の財政見通しについて問う。

答　①4期目に入り各種事業を進めた結果、昨年はコロナ禍からの回復と正常化を大きく進展させることができた。市政では、4期目のマニフェストほぼすべてを予算化し推進してきた。一方で、人手不足や物価高騰等の問題が顕在化し、本市の人口も減少傾向となるなど、今後の市政運営はさらに厳しさを増すことから、新たな時代の潮流を見極め、変化を恐れず、見直すべきは抜本的に見直すなど、揺るぎない信念と決意をもって様々な行政課題の解決に取り組んでいく。令和6年は、「小牧市まちづくり推進計画第2次基本計画」を本格的にスタートさせる年であることから、これまでの歩みを止めることなく、未来をしっかりと見据え、市政を着実に前進させていく。また令和7年は、市制施行70周年を迎えることから、先人たちへ感謝の意を表すとともに、市民が未来に希望を持てる1年にしたい。今後は、市民の心に残るような記念事業を企画するなど、令和7年に向けてしっかりと準備を進めていく。

②重点施策として、米野小学校改築、健康増進施設整備・運営、北西部地区公園整備、プラスチック製品再資源化推進等、小牧市まちづくり推進計画第2次基本計画に掲げる都市ヴィジョン実現のための取組を予算化した。財政見通しは、歳入面では生産年齢人口の減少やふるさと納税に伴う税源流出等により大幅な増加を見込めず、歳出面では人件費や社会保障関連経費等の増加が見込まれ、これらは本市でコントロールの余地がない、国の制度や社会構造によるものである。財源確保が難しい状況だが、ファシリティマネジメント推進の徹底、全庁的な経費抑制に努め、これらの避けがたい負担増への対応と将来必要な事業とを両立する、持続可能な財政運営に取り組んでいく。

まちづくり推進計画

問　小牧市まちづくり推進計画第2次基本計画は変化を続ける社会情勢や市民ニーズに対応した計画とのことである。①コロナ禍の影響を受けた第1次基本計画の総括を問う。②第2次基本計画で目指すまちづくりを問う。

答　①コロナ禍においても感染防止に配慮しながら、「こまきこども未来館」「小牧市中央図書館」の開館、窓口サービスの充実をはじめ、可能な限りの取組を進めた結果、第1次基本計画で設定した指標で評価が可能なもののうち、約78％の指標は目指す方向と一致した。また令和4年10月に実施した「市民意向調査」では「小牧市は住みよい・どちらかと言えば住みよい」と答えた市民は90％、「今後も小牧市で暮らしたい」と答えた市民は88・2％となり、いずれも調査の都度上昇している。これらの結果から、多くの分野において一定の成果を得られ、市政を前進させることができた。

②新たに策定した第2次基本計画は、3つの都市ヴィジョン「こども夢・チャレンジNo.1都市」「健康・支え合い循環都市」「魅力・活力創造都市」は承継しつつ、時代の潮流を踏まえた計画とした。「市政戦略編」も戦略の柱は変わらないが、重点事業は本市のまちづくりの主要課題等にもしっかりと対応できる内容とし、計画推進における横断的視点として、SDGsやダイバーシティに加え、DXやカーボンニュートラルなど新たな視点を加えた計画とした。予算や職員など経営資源が「右肩下がり」となり、社会インフラの維持・更新が困難となる中、今後はこの計画に基づき、選択と集中を一層強化し、企業や市民団体等と連携しながらこれからの未来につながるまちづくりを進めていく。

●その他の質問
- こども夢・チャレンジNo.1都市
- 健康・支え合い循環都市
- 魅力・活力創造都市
- 市民生活を支える主要事業
- 自治体経営

こまき民主市議団
小川（おがわ）真由美（まゆみ）

動画をチェック!

市民の健康・スポーツ増進

問 健康づくりやその支援、スポーツを通じて、国民の医療費の抑制や健康維持施策の取組は重要である。
①健康経営支援の進め方を問う。
②現在、休館中の温水プールの今後の整備をどのように進めていく考えかを問う。
③がん対策の取組や医療用補整具の助成の実績について問う。
④令和8年度アジア競技大会の開催に向けた施設改修の新規事業の内容を問う。

答 ①小牧市役所は法人として健康経営優良法人の認定を取得しており、今後市内事業所の健康経営を支援するため、令和6年度から新たに顕彰制度の創設や国の健康経営優良法人の認定申請に係る手数料の一部助成制度を創設するなど、健康経営支援事業を開始し、働く世代・子育て世代の健康づくりの習慣化を目指す。

健康経営優良法人 2023 Health and productivity

②建替えの必要性も感じているが、財政状況が一層厳しさを増している中では廃止も検討せざるを得ない。建替えにしても、温水プールは夏に利用が集中し、多くは子ども連れの家族であること等を考慮し、できるだけ安価に整備運営できる夏限定の屋外プールに建て替え、長く使用していくことも選択肢の一つと考えている。

③がん予防につながる生活習慣の改善への取組や、中学校での授業、保健連絡員によるがんの正しい知識の普及啓発を行う等、がん検診の無料クーポン交付など受診を促している。医療用補整具の購入費助成は令和4年度からの実施で、同年度の実績は53件。
④パークアリーナ小牧において、愛知県等の補助金を活用しトイレ改修、バリアフリー化工事等を令和6年度から令和7年度に実施し、その他老朽化した中央監視装置システム改修、音響設備及び照明環境制御システム改修の各工事を順次実施予定。

小牧市民病院

問 安心・安全な医療提供や健康と命を守る医療体制の充実を求めます。
①520床の稼働状況を問う。
②現在の面会制限を問う。
③看護師の離職の現状と働きやすい環境づくりの取組を問う。
④通院支援アプリ「コンシェルジュ」の取組を問う。
⑤末永病院事業管理者の運営に関する所見を問う。

答 ①病床の稼働状況を表す病床稼働率は、季節的な疾患の流行等により月ごとの変動が大きくなるものの高い数値で推移しており、救急医療や高次医療を必要とする患者の受入体制の確保に努めている。
②現在の面会制限は、1日3名以内かつ1回15分以内とし、面会者の範囲を3親等以内の親族もしくはキーパーソンとしている。面会時間は、13時から17時までとし、より多くのご家族等に面会の機会を提供できるようにしている。
③看護師の離職率は年々増加傾向であったが、令和5年度は減少している。現場の若手看護師と看護師長でそれぞれワーキンググループを作り、改善策を話し合い、できることから改善している。また、他職種との業務分担の見直しや看護補助者を夜間配置する等、看護師の負担軽減に努めている。

④入院においても会計を待つことなく帰宅できる「らくらく会計」の導入を進め、アプリの魅力を上げると同時に、定期的な受診患者さんに積極的にアプリの登録をお願いするなど、ターゲットを絞った取組も重要と考えている。
⑤今後は新病院の機能を十分発揮し、「断らない救急体制の整備」「働きやすい職場環境の整備」「恕の心で患者さんに寄り添う病院」を目指すことにより、尾張北部医療圏の基幹病院としての役割を果たすことを期待している。在任期間中は小牧市議会よりご支援・ご協力をいただき感謝を申し上げる。

●その他の質問
・施政方針
・都市交通
・学校教育

日本共産党小牧市議団
安江（やすえ）　美代子（みよこ）

動画をチェック！

施政方針

問　①学校給食費無償化は令和6年度、第2子中学生・第3子以降の小中学生となっている。完全無償化に踏み切るべきだ。見解を問う。

②国民健康保険税は平成29年度と比べいくら増額になるのか問う。

③決算補填等目的の繰入金をゼロにした場合、国民健康保険税はいくら負担増になるのか問う。

④補聴器購入費助成事業が新設された。対象者・助成額等考え方を問う。

答　①現在実施している第2子中学生と第3子以降小中学生の無償化の年間経費が1億5千万円余であり、県内でも積極的に無償化に取り組んでいると認識している。仮に学校給食費を完全無償化する場合は、追加で約5億円必要となるため容易なことではない。学校給食費の完全無償化については、いずれは実施したいとの思いはあるが、厳しい財政状況であるため、出来る限りの努力をしていくというのが現状である。

②確定している平成29年度と令和4年度の決算額での比較では、1人当たり保険税は7850円、1世帯当たり保険税は469円の上昇である。　参考として、平成29年度と令和6年度試算との比較では、1人当たり保険税は、1万7908円、1世帯当たり保険税は、1万4525円の上昇である。

③令和4年度の一般会計からの決算補填等目的の繰入金は、3億1983万8千円余である。この額をゼロとするには、1人当たり保険税は1万1822円、1世帯当たり保険税は1万8082円の負担増となる。参考として、令和6年度当初予算案における決算補填等目的の繰入金は、6億4728万6千円である。この額をゼロとするには、1人当たり保険税は2万7016円、1世帯当たり保険税は4万903円の負担増となる。

④対象者は、高齢者に限定することなく、18歳以上の身体障害者手帳の交付対象にならない、市民税非課税世帯の方とする。対象聴力は、通常の声が聞き取り困難な中等度難聴者とする。助成額は、補聴器購入費用の3分の2、上限額は3万5266円とする。

下水道事業長期経営計画

問　①小牧市は、下水道料金1㎥当たりの使用料を、89・41円から150円に引き上げる計画です。国の示す最低基準1㎥当たり150円の根拠を問う。

②使用料を1㎥当たり150円に上げれば住民は節水し、有収量は減り下水道会計は悪化する。住民負担を増やさない方策を考えるべきだと思うが、見解を問う。

答　①使用料の150円は、平成17年に総務省が使用料の適正化を図る際の考え方として示したものであり、これによると1㎥当たりの水道の使用料単価が176円個別処理浄化槽の使用料単価が135円であることなどにかんがみ、家庭用使用料として1か月20㎥、3000円、1㎥当たり150円とされている。

②下水道事業の経営改善には、支出を最小にする視点と収入を確保するという視点の両面から取り組む必要がある。支出を最小にするため料金請求業務等の民間業者への委託による効率化、ストックマネジメント計画の策定による投資の平準化や近隣市町との下水道管路施設の点検・調査業務の共同化などに取り組んでいる。しかし、主な費用は削減の難しい固定費で経費削減だけでは賄いきれない状況である。また、収入を確保するため下水道未接続世帯への接続促進活動など水洗化率の向上にも取り組んでいる。今後もコスト縮減や経営の効率化に努めるが持続可能な事業運営を行うため下水道使用者には、受益者負担の原則のもと適正な使用料をご負担いただくことが必要である。

●その他の質問
・都市計画税

公明党小牧市議団
加藤（かとう）晶子（あきこ）

動画をチェック!

こども家庭庁創設に伴う本市のこども施策

問 ①こども家庭庁創設に伴う児童福祉法等の改正を受けた取り組み状況について伺う。②こども未来戦略「加速化プラン」の対応として、令和6年度の施策にどう反映されているか伺う。

答 ①児童福祉法等の一部改正により、こども家庭センターの設置に努めることとなり、本市では子育て世代包括支援センターの機能を一部強化することで、こども家庭センターの機能を果たしていく。また、地域子育て相談機関としての体制整備を行うため保健師2名を配置する。妊娠・出産時からの支援では、伴走型相談支援の体制を強化するため助産師を1名配置する。ひとり親家庭等の生活支援として、今年度から就業支援専門員を配置し、ワンストップでひとり親家庭の抱える課題に対応している。来年度は、離婚の際の養育費の取り決め等に関する補助制度を新設する。国は子育て家庭への支援充実策として「子育て世帯訪問支援事業」など三つの事業を創設しており、現在進めている「第三期小牧市子ども・子育て支援事業計画」の改定に合わせて、量の見込み等を検討していく。

②児童クラブの質の向上に向けて、新たに児童クラブ運営支援アドバイザーを配置するとともに、支援員の人員確保と民間事業者のノウハウを活かした質の向上や多様な居場所づくりを目的として試行的に大城児童クラブ運営委託の導入を進める。児童館と連携するこども食堂への助成制度を創設し、こどもの孤立や孤食の防止や地域で安心して過ごせる居場所を提供し必要な支援に繋げる。保育の受入れ態勢確保のため小規模保育事業所及び私立保育園の公募や公立保育園の建替えを前倒しするほか、障害児・医療的ケア児の支援として（仮称）第一こども園の整備を進める。保育の質の向上に向けて、国の動向に合わせ保育士配置基準の順次見直しと更なる処遇改善を行っていく。私立保育園や小規模保育事業所において第三者評価を受けた際の補助制度を創設し、保育の質の向上に繋げていく。

認知症対策

問 ①認知症基本法成立に伴う取組について伺う。②認知症の人やご家族が安心して暮らせる環境整備について伺う。③市民の理解を深める取組について伺う。

答 ①認知症基本法が施行され認知症施策推進基本計画の策定が、市の努力義務となった。現在策定中の「地域包括ケア推進計画」において、認知症基本法の概要を紹介するとともに、法の趣旨に基づき、認知症の人を支えるサービスの充実を図ることとしている。認知症施策推進基本計画の策定については、国、県の策定状況を踏まえ、方向性を出していきたい。認知症の方の意思を尊重した社会参加については、認知症の人のみならず、周囲の人が認知症に対する理解を深め、地域社会で支えていくことが重要と考える。認知症の人が意欲を持って参加でき、能力を発揮できる場の創出が重要と考えており、引き続き、本人の意思を尊重した社会参加の支援に努めていく。②認知症の人やその家族に対する支援策としては、「認知症高齢者等あんしん補償事業」や、「認知症見守りネットワーク」などの取組を実施している。相談体制としては、市内の地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置している。認知症に関する相談業務を行い、相談内容に応じて、医療や介護サービスに繋げるなどしている。相談窓口の周知については、認知症の様態に応じたサービス提供の流れをまとめた「小牧市認知症ケアパス」に聞きたい内容に応じた相談先を掲載するなどしている。③認知症に対する正しい理解を深めてもらうために、引き続き、認知症サポーター養成講座やステップアップ講座、認知症予防ゲームなどを通じて、認知症に対する理解の促進に取り組む。9月のアルツハイマー月間などの機会を捉えた啓発を検討する。認知症が誰にでも起こり得る身近なものであることを周知していく。

●その他の質問
・施政方針
・予算編成
・ICT教育環境の整備

一般質問　第1回定例会　個人通告質問

大規模災害の備え

公明党小牧市議団
星熊伸作（ほし くま しん さく）

動画をチェック!

問　令和6年能登半島地震を受けて

①木造住宅の耐震化の取組について問う。②トイレトレーラー等を導入推進する考えはあるか問う。③発災後の避難所等におけるこころのケア対象者のスクリーニングについて問う。④災害ケースマネジメントの推進に向けた取組について問う。

答　①これまで無料耐震診断や耐震改修費等補助金を実施しており、耐震改修促進計画の目標達成に向けて、今後も市民に対して様々な機会を捉えて普及啓発の強化に努めていく。②災害時にトイレカーや仮設トイレの提供を受ける協定を締結しており、現時点で導入は考えていないが、費用対効果や先行導入している自治体の状況を踏まえ調査・研究していく。③保健師が避難所等を巡回し健康支援を行うが、避難者の精神的変化に注意を払い、必要に応じて医療機関につないだり、県の災害派遣精神医療チームの派遣要請をすることとしている。④今後は小牧市地域防災計画に記載するとともに、関係機関との連携強化等行い、被災者の実状に即した自立生活再建が進むよう取り組んでいく。

介護支援専門員の人材不足と確保

公明党小牧市議団
佐藤早苗（さ とう さ なえ）

動画をチェック!

問　①今後高齢化率は増加を続け、介護ニーズは益々高まる。介護保険制度において要の存在である介護支援専門員の人材不足が深刻な問題になっている。市の認識を伺う。②法定研修が多職種に比べ頻繁にあり、そこに費用と時間がかかる。離職防止のために研修に要する費用を助成する考えはないか伺う。③介護現場におけるカスハラ対策についての考えを伺う。

答　①65歳以上人口が増える一方で生産年齢人口は減少する。適切な介護サービスの提供が危惧される。調査では、既に約7割の事業所で介護人材が充足していない。介護支援専門員を含む介護人材の確保・育成の取組が必要である。②全国市長会からは介護職員の確保等を図るための財政措置等の支援策について要望されており、市としても国等へ要望していく。助成については他市町村の動向を注視し調査・研究を進めるが、まず国・県と連携し負担軽減していけるよう努力する。③国はマニュアルや事例集などを作成し事業所の対策推進を支援している。市として国のマニュアル等を参考にホームページ等による啓発を開始した。

職員の人材育成

牧政会
余語智（よ ご さとし）

動画をチェック!

問　①職員の研修体系とその効果をどのように把握しているのか問う。②組織の目標管理と健康管理をどのように行っているのか問う。③職員のデジタル人材育成をどのように考えているのか問う。

答　①研修体系は、自己啓発研修、集合研修、職場研修、派遣研修の4区分で構成。職員は研修受講後、研修を振り返り、受講報告書を提出する。人事課はそれを基に研修ニーズや効果を把握している。②組織の目標管理は、年度当初に部と課の組織目標を定め、それを基に主任以上の職員は個人目標を定めている。年度途中と年度末に評価者である部長や課長が職員と面談し、目標の達成状況や今後の業務の進め方等を助言・指導している。職員の健康管理は、全職員、健康診断や人間ドックを受診させるとともに、ストレスチェックを実施し、心身の健康の把握と必要に応じて健康に関する指導を行っている。③全ての職員を対象としたDXに関する研修を行い、DXがこれからの業務には欠かせないこと、専門の部署だけで進めていくものではないことを理解させるとともに、デジタルツールを活用できる能力の向上に努めていく。

東部まちづくりの推進

牧政会　阿部哲己（あべ てつみ）

動画をチェック!

問　①東部地域の土地利用の見直しについて問う。②桃花台線旧車両基地用地について問う。③市民四季の森について問う。④太良まめなしの里について問う。⑤（仮称）小牧市農業公園について問う。

答　①都市計画マスタープランの改定において、桃花台の戸建て住宅エリア及び桃花台線旧車両基地用地などの地区計画の見直しや用途地域の変更を検討している。②地域住民へのアンケート結果を踏まえ、サウンディング型市場調査を実施するなど、利活用の方策を愛知県と検討している。③令和7年度の市制施行70周年バラ・アジサイまつりに向け、令和6年度に水辺の音楽広場のステージや観客席に熱中症対策として脱着型の日除け施設を整備していく。④令和6年度は、マメナシ自生地を含む南ゾーンを供用開始し、北ゾーンを整備していく。⑤令和6年度は、造成工事のほか、サウンディング型市場調査の結果や「小牧市PPP/PFI導入基本方針」を踏まえ、本整備に向けた公園実施設計や管理運営に関する検討を行う。

市民四季の森　水辺の音楽広場

防災対策

牧政会　永井孝典（ながい たかのり）

動画をチェック!

問　能登半島地震を踏まえた防災対策について ①能登半島地震における本市の支援状況について問う。②今後の防災対策にどのように活かしていくのか問う。

答　①地震発生直後から消防職員を石川県輪島市に派遣し救急活動などに従事するほか、医療活動、支援物資の輸送、被害家屋や下水道管の調査、応急給水活動など被災地に延べ71名の職員を派遣した。また、被災地から被災者を受け入れたほか、公共施設に義援金箱を設置した。本市への避難者には、市営住宅の提供や水道料金の減免、学校給食費の免除など、できる限りの支援を行う。②地震に対する情報の収集や伝達体制の強化、地震発生時の適切な避難行動の啓発など地震への対応力を高める取組が重要であり、地震への備えを一層強化する。市民の防災意識の向上を図るため、防災教育や訓練の充実、市民への防災啓発を推進する。公共施設の耐震化や災害時のインフラの復旧や補強など、インフラの耐震化を強化する。これらの対策を講じるには自助、共助、公助の連携が不可欠であり、引き続き防災対策の強化に努めていく。

デジタル技術を活用した防災

無会派　伊藤皇士郎（いとう こうしろう）

動画をチェック!

問　①VR技術を活用した取組について問う。②SNSを活用した取組について問う。③ドローンを活用した取組について問う。④国土交通省が推進するプロジェクトプラトーの導入について問う。

答　①現在、VR技術を活用した啓発は実施していないが、今後は、令和6年度の防災訓練でVR技術を活用した体験を取り入れるなど、防災意識の向上を図っていく。②避難情報や避難所開設情報などを防災情報メールなどで市民に知らせている。また「ヤフー防災速報アプリ」や「全国避難所ガイド」を市ホームページで紹介しており、今後もSNSを活用した取組を啓発していく。③民間事業所2社とドローンを活用した災害協定を締結し支援を得ている。今後もドローンの利活用について検討するとともに、協定締結事業所と連携強化を図っていく。④プラトーは防災分野で特に浸水シミュレーション等で活用されているが、本市では現時点で、このプロジェクトに参画していない。今後はデジタル化の進展に伴い有効な手段と予想されるため、関係部署と連携を図りながら、他の自治体の開発事例など調査・研究を進める。

小牧市における障がい者福祉施策

日本共産党小牧市議団
猪飼（いがい）健治（けんじ）

動画をチェック!

問 ①障がい者の移動支援について、他市ではその対象に「通所・通学」を含めているところがあるが、本市ではどうか伺う。
②障がい者の交通料金助成におけるタクシー券補助の利用率は低いが、利用補助の方法を今後見直していく考えはあるか伺う。
③障がい福祉サービス事業所における深刻な人材不足の問題について、本市ではサービス事業所職員の処遇支援を含めた対応の見直しは考えているか伺う。

答 ①対象となる外出は、社会生活上必要不可欠な外出及び余暇活動等社会参加のための外出としていることから、「通所・通学」については、対象外としている。
②現在の制度は、多くの外出を支援する意図から基本料金分を補助している。現在の補助方法では、追加運賃が発生することを理由にタクシー利用を控える方も一定数いると思われることから、他市の事例の調査や利用者の声を聞くなど研究していく。
③国において、「福祉・介護職員等特定処遇改善加算」が創設され随時、制度の見直しが行われていることから、その動向を注視している。一部の自治体においては、独自の助成制度を設けているところもあるので、効果などの調査を行っていく。

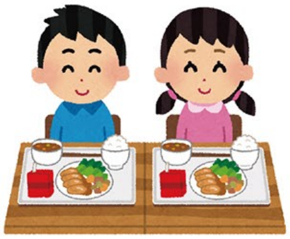
学校給食の昆虫食

無会派
黒木（くろき）明（あきら）

動画をチェック!

問 近年SDGsと関連付け昆虫食、特にコオロギ食が話題になっているが、内閣府、食品安全委員会の報告で過熱処理後も芽胞形成菌の生存が確認され、アレルギー問題、漢方医学大辞典には「コオロギは微毒であり妊婦には禁忌」と記載もあり、子供に選択の余地がない学校給食にコオロギ食は採用しないで頂きたい。
①小牧市内の学校給食で過去に昆虫食材の導入のオファーが有ったのか、市内の学校給食で過去に昆虫食材採用経験の有無について問う。
②今後の昆虫食材を学校給食に採用する可能性について問う。

答 ①本市の学校給食においては、これまでに昆虫食を提供したことはない。
②本市の学校給食においては、今後も昆虫食材を採用する考えはない。



小牧市温水プール

日本共産党小牧市議団
山田（やまだ）美代子（みよこ）

動画をチェック!

問 閉館中の温水プールは取り壊すことを決定した。①解体理由を問う。②解体後はどのような温水プールを考えているのかを問う。③水泳は健康維持、体力増進、フレイル予防にも効果がある。健康づくりの観点から温水プールの必要性をどう考えているか問う。

答 ①改修して再開しても、稼働期間は令和21年度までの13年間しかなく、修繕費等は25・5億円が必要となる。これまでに要してきた費用と比較しても費用対効果が著しく低く、休館中も維持費は必要であるため。②建替えの必要性も感じているが、財政状況が一層厳しさを増している中では廃止も検討せざるを得ない。建替えにしても、温水プールは夏に利用が集中し、多くは子ども連れの家族であること等を考慮し、できるだけ安価に整備、運営できる夏限定の屋外プールに建て替え、長く使用していくことも選択肢の一つと考えている。③健康づくりにおいてプールの利用は有効な手段の一つと考えるが、費用対効果等を考慮すると厳しい選択である。健康づくりについては、総合的に考える必要があると考える。

名鉄小牧線に関連する整備と対応

こまき民主市議団
小沢国大（こざわくにひろ）

動画をチェック!

問 令和6年3月16日より名鉄小牧線が減便となる。公共交通が使いづらくなれば、益々車への依存が高くなることから、今後も利用しやすい公共交通であり続ける必要がある。①減便の内容について問う。②こまき巡回バス「こまくる」やピーチバスへの乗り換えの影響について問う。③駅周辺の今後の整備について問う。

答 ①名鉄小牧線の利用者数は、コロナ禍以前の水準に回復していないため、小牧駅―平安通駅間の一部の便が減便となり、往復で、平日は8便減、土日祝日は12便減となる。②減便となる時間帯では、減便後も少なくとも1時間あたり4便が確保されており、運行間隔が短いため、大きな影響はないと考える。③市内6駅周辺は、これまで、交通結節点の機能強化やバリアフリー化に努めてきた。現在、小牧駅は、名古屋鉄道株式会社と連携・協力しながら、民間活力の導入を視野に入れ、再配置案の検討を進めている。小牧原駅は、県による桃花台線のインフラ撤去後に駅利用者の利便性向上に向けた整備を行う。

学用品等の家計負担軽減、持続可能な環境の為の資源活用

こまき民主市議団
諸岡英実（もろおかえみ）

動画をチェック!

問 義務教育は本来無償とされているが、実際は様々な教材費に加え、絵具や算数セット等のお道具類が個人負担の個人所有となっており「隠れ教育費」として家計負担となっている。環境配慮の観点からも、個人所有ではなく学校備品化し、公費で賄う取組が全国で広がっている。
① 保護者に求められる個人負担の各種教育関係備品の年間負担額はいくらか伺う。
② 家庭購入となっていた教材の特性に応じ、個人所有から学校備品化を進めていく考えを伺う。

答 ①文部科学省の「令和3年度子どもの学習費調査」によると、学校教育費の年額は公立小学校で6万5974円、公立中学校で13万2349円となっている。②個人所有の学用品を学校の備品にすると自宅での学習に活用することができなくなるなどの課題がある。まずは、他自治体の事例や、本市の一部の小学校で行われている使わなくなった算数セットの寄附を募り、学校保管としていく取組などについて学校と話し合うところから始めたいと考えている。

2024年問題

こまき民主市議団
谷田貝将典（やたがいまさのり）

動画をチェック!

問 2024年問題とは、働き方改革関連法案により運送業界等のドライバーは本年4月以降、時間外労働時間上限規制が960時間となり、ドライバー不足や物流が止まると言われている。他にも物価高や燃料高騰により業界は厳しい経営状態にある。物流の街小牧として対策を問う。①中型・大型免許取得事業者へ補助や軽油引取税分を補助したらどうか問う。②置き配ボックスを市民配布したらどうか問う。③市内物流事業者と懇談会を年1開催したらどうか問う。

答 ①中型・大型免許取得に係る補助は、春日井ハローワークが主催した「ドライバーフェア」などの機会を捉え、今後も関係機関と連携を図りながら運送事業者や就職希望者の意見を伺い、調査・研究していく。県税である軽油引取税分に係る補助は、県の燃油価格支援金、国の燃料油補助金の継続があり、市独自の補助は予定していないが、運送事業者への支援を注視していく。②置配ボックス設置の支援は、今後、調査・研究していく。③事業者との懇談会は、車座会議の開催など関係者の意見を伺う場を検討する。

こまき市議会だより
No.206
2024年5月1日発行

目の不自由な方へ　声の議会だよりと点字の議会だよりを用意しています。

災害時のトイレ

無会派
大上（おおうえ）利幸（としゆき）

動画をチェック!

問 ①現状の災害時のトイレの対応では、過去の被災地トイレと同様に悲惨な状況になるのではないか伺う。②水道が使える、水が確保される場合でも、発災直後は下水処理場等の被害状況が確認出来るまで、水洗トイレの使用を禁止する必要がある。便収納袋（便袋）での対応が必要になるがその対応方法を伺う。③在宅避難でも便袋での対応が必要である。便袋の備蓄の周知方法を伺う。④便袋を体験して頂く方法を伺う。

答 ①災害時のトイレ問題は深刻であり、能登半島地震での課題を検証し、大規模災害に備えるとともに、簡易トイレ等の備蓄について周知・啓発する。②便収納袋は災害時に既設トイレの便座を利用するか、簡易トイレを組み立てて使用することとなる。今後は、防災訓練などで使用方法等を周知・啓発する。③防災訓練や防災ガイドブックなどで生活必需品の備蓄を呼びかけており、最低でも3日分の便収納袋を備蓄するよう周知・啓発する。④現在、防災の出前講座などで参加者が体験しているが、今後は、総合防災訓練や地区単位の防災訓練などでも体験できるよう調整する。

その他の質問

- 空家等対策　（星熊　伸作）
- 1か月児及び5歳児健康診査　（佐藤　早苗）
- 公用車の運行管理　（永井　孝典）
- 小牧市のシティプロモーション　（伊藤皇士郎）
- 事務事業評価　（黒木　明）
- 学校施設の断熱措置と体育館へのエアコン設置　（諸岡　英実）
- eスポーツ、シルバーeスポーツの普及　（諸岡　英実）
- 「市民の声」　（大上　利幸）

お詫び

議会だよりNo.205（2月1日発行）において脱字がありました。お詫びして訂正させていただきます。

（訂正箇所）
P9黒木明議員の一般質問の「問」内、「国籍別受給者の10年前」

感謝状

2月2日、第124回愛知県市議会議長会定期総会において、澤田勝巳前議長及び河内伸一前副議長がその功績に対し、同会会長から感謝状を受けました。

自動運転車両を視察（2/9）

路線バスの運転手不足に対応するため、導入の検証が行われた「自動運転実証調査事業」について視察しました。

自動運転車両は小牧山南麓ガイダンスエリアから小牧駅東側ロータリーの区間を運行し、自動運転に関する情報収集、分析等が行われました。

◇8月1日号議会だより表紙写真募集

〈募集する写真について〉

○テーマ　市民の元気が伝わるもの等
○応募期限　7月5日（金）まで。
○提出先　小牧市議会事務局
電話　（76）1168・1169
FAX　（76）0360
Eメール　gikaigiji@city.komaki.lg.jp

〈注意事項〉

○応募は、市内在住・在勤・在学の方のみです。
○応募写真は、広報広聴委員会で誌面構成を考慮し、掲載いたします。（選考結果の報告はいたしませんのでご了承ください）
○応募写真・提出者の氏名・連絡先・撮影日・撮影場所をデータで提供してください。なお、著作権は市議会に帰属します。
○被写体に人物、会社、個人の所有物などが入る場合は、その旨了承を得た上で、応募ください。
○令和6年5月1日から7月5日までに撮影された写真であること。

次回定例会のお知らせ（予定）

・6月3日（月）本会議（招集日）
～6月26日（水）本会議（最終日）
・正式な日程は、招集日前に開催される議会運営委員会において決定します。
・議事の都合により、日程が変更になる場合があります。

■発行／小牧市議会（小牧市堀の内三丁目1番地　TEL76-1168・1169）
■編集／広報広聴委員会
※森林資源保護のため再生紙を使用しています。